（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぱんはうすさくら志免東教室（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和6年 2月 1日		～	令和7年 3月 3１日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	35	（回答者数）	27
○従業者評価実施期間	令和6年 １２月 １日		～	令和7年 3月 3１日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　4月　25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者より厚い信頼を得られていること。 お子様が楽しみに来所してくれる子どもとの信頼関係、愛着形成の充分な構築。	保護者と子供にとって安心できる自分の居場所となるよう日頃から不安や心配を出来るだけ除いてあげれるよう支援している。話しやすい頼りやすい関係性を構築している。	出来るだけ多くのご要望にお答え出来るよう、人員の配置・職員の質の向上が充実できるよう努めていく。 全ての保護者や子供達が信頼のおける場所となるよう個々のニーズにあわせて寄り添い、手助けに努める。
2	専門性の高さ。 プログラム内容の充実。 養育支援内容の充実。	専門職員による支援内容を充実させている。 専門職員ではなくても支援ができるようにしている。 保護者のニーズにあわせたプログラムと子どもが貴重な体験を楽しめるワクワクするプログラム内容にする。	出来るだけ専門的な資格者の獲得と維持。 産休や退職などの期間への対応ができるよう学び、保育士や児童指導員が支援していく。 個々の課題達成がすべての職員の目標とし、達成させることを基本とし日々支援を実施。
3	園庭や教室内のスペースの広さと清潔感。 子供達が入って来やすい明るく居心地の良い空間であること。	日頃より整理や清掃の徹底。 スペースを最大限に使用出来るようなスペース作り。 環境整備により明るく温かみのある環境の保持の徹底（可愛くやわらかな環境整備）。	老朽化・劣化を出来るだけ抑えられるよう丁寧な利用や日々の整理、清掃の徹底を継続していく。 定期的な環境整備の変更（かわいらしい明るい空間作り）。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材定着の低さ。 専門職員の定着。	従業員の成長のサポートが足りない。 労働環境、評価水準の見直し、専門資格者の仕事内容の分化の検討の必要性。	従業員のモチベーションの向上と維持が出来るような労働環境の改善に努め働きやすい環境を整える。 労働条件や業務の分化、専門能力の最大限の活用が可能な環境づくり。
2	保護者や本人のニーズへの支援 他事業所とのST、PT、OTが使用する道具の設備がないこと	保護者のニーズは理解しているが困難である為	他のST、OT等の訓練の器具や道具の購入は困難である為、日々別の方法で実施している。 手作りで代替えを継続。 その他のニーズや課題を全力での対応により達成させる。
3			

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぱんはうすさくら志免東教室（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	R6年　2月　1日	～	R7年　3月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	7
○従業者評価実施期間	R6年　2月　1日	～	R7年　3月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年　4月　25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室が清潔・広い。 入りやすい居心地の良い空間。	毎日の整理・清掃の徹底。 子供たちが居心地の良い空間づくりを日頃より行っている（かわいくやわらかな環境整備）。	新入社員への清掃の仕方など細かな伝達。 朝夕のチェックなど定期的な環境整備を今後も継続。
2	児童発達から利用している為信頼と安心がある。	学校との連携を大切にしている。 日頃よりコミュニケーションを大切にしている。 子供に必要な課題や保護者のニーズへ最大限対応出来るようにしている。	学校や家の様子を日頃より保護者・学校関係者との連携を今後も継続していく。
3	宿題指導が充実している。	一つ一つの単元を習得達成となるよう目標を計画しながら支援している。	子どもの目標達成を支援者の目標とし達成させることを基本とし日々支援を実施。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ほぼ児童発達の子どもで少人数の為、活動の範囲がとても狭い。 ので退屈することも多い。	児童発達と併せての人数なのでこのまま継続維持。	出来るだけ子供達が好きなゲーム性のある活動で意欲を高め、少人数ならではの楽しい内容を提供。
2	児童発達からの継続ができない。	児童発達・放課後等デイサービス総じて考慮した上のことなのでこのまま維持。	これまでも適宜保護者へは説明し、理解した上での利用希望であり、出来る限りの対応に努めてきており特にトラブルもなくこのまま継続。
3			